PRESS RELEASE

2023年9月1日/No.08

社会貢献 地域連携 学生の活動



■大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部コルクプロジェクト■

管理栄養士・栄養士を目指す女子大生が地域の高齢者の健康維持に貢献 創作劇 STOP!コロナフレイル。

2023年9月10日(日)永和校区福祉委員会主催敬老会

大阪樟蔭女子大学(東大阪市)健康栄養学部の学生が、少しでもフレイルに関する理解を深めてもらおうと、 創作劇 STOP! コロナフレイル、を制作、永和校区福祉委員会主催の敬老会にて上演することになりました。

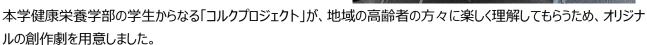
本件のポイント

- ●管理栄養士・栄養士を目指す健康栄養学部の学生有志が企画して運営するコルクプロジェクトの中でも、地域貢献を主軸に考えるまちのお手伝いチームによるイベント。
- ●大学での学びを活かし、学生自らが地域の高齢者にわかりやすく楽しくを念頭に企画、演者も行う。
- ●地域の高齢者の健康支援のため、永和校区福祉委員会主催のもと 200 名程度の高齢者が参加を予定しているイベントにて上演。

■コロナ禍の影響で高齢者のフレイルが増加

フレイルとは、加齢に伴い心身の機能が低下し、介護が必要な一歩手前となった状態を表します。感染を恐れ外出機会が減少すると、活動量が低下し、食欲低下を引き起こします。そうなると足腰や口腔の筋肉が減少し、さらなる活動量の低下と食事摂取量の減少につながり悪循環に陥ります。これがフレイルサイクルです。また、フレイルは認知症や要介護の入り口になるとされていますが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性もあります。

以前から様々な場面でフレイル予防の大切さを伝えてきた





■学生自ら考え行動するプロジェクト「コルクプロジェクト」

健康栄養学部では、"健康"をキーワードに医療・介護を中心とした現場で、栄養教育や指導ができる管理栄養士の育成、ならびに"食"を中心とした正しい健康情報を教育指導できる人材の育成を目指しています。学生たちもキャンパスライフの質を向上していくために何ができるかを考え実行していくプロジェクト「QOLK プロジェクト」を立ち上げ、地域の方々の健康サポートについて様々な取組みをおこなってきました。

今回、コルクプロジェクトの一つ「まちのお手伝いチーム」が、 地域の高齢者の方に楽しくフレイルについて理解してもらえる



よう学生自ら企画し、上演することとなりました。演劇には、プロジェクトの学生 5 名に廣岡助手・井尻 吉信教授を加えた 7 名が参加します。

大阪樟蔭女子大学コルクプロジェクト

健康栄養学部の大学生自らがキャンパスライフの質(QOL)を向上(K)を目指すプロジェクト。QOLとKをつなげてコルク。主な活動内容は、オープンキャンパスの企画・運営。その他、OGキャリア企画、附属幼稚園との連携、子ども食堂、健康メニューの開発、在住高齢者向けの活動など。それぞれ学生が興味のあるチームに分かれて、学んできたことを活かして実践を行っている。■Instagram: https://www.instagram.com/qolk_project/

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材・掲載のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 学園広報課(担当:吉田·服部·梶田)

TEL:06-6723-8152 (直通) FAX:06-6723-8263 E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp